

自然災害研究協議会東北地区部会・日本自然災害学会東北支部一般公開シンポジウム

地球・社会環境遷移の影響下での災害を考える ー災害に対してどのように適応していくかー

近年、地震、気候変動や火山活動、そして特に福島県は原子力に関連した災害が認められ、生命や財産へ被害も生じている。自然災害研究協議会東北地区部会・日本自然災害学会東北支部では、東北地方の研究機関や行政機関が、毎年一度、最新の災害研究成果や報告を発表する研究会を開催している。

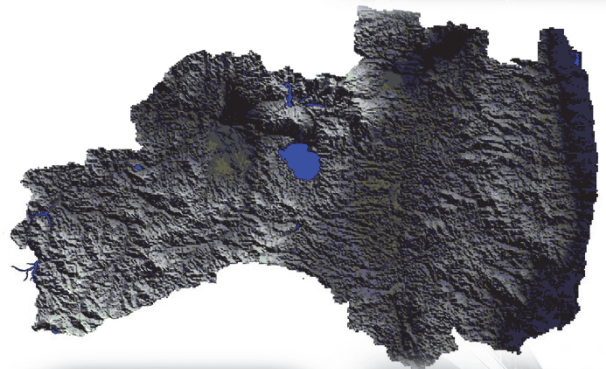
この公開シンポジウムでは、自然災害の現象過程と身近な災害に関わる問題を融合させた安全・安心な対策、準備を行うことを目的とした講演、パネルディスカッションを企画しています。

日 時： 2016年1月8日（金）
14：40～17：00（14：30開場）

会 場： 杉妻会館4F 牡丹

入 場： 無 料（会場：150名限定）

主 催： 自然災害研究協議会東北地区部会・日本自然災害学会東北支部
共 催： 福島大学



■ 開会・挨拶

趣旨説明 川越清樹(福島大学共生システム理工学類)

■ 講演

- 気候変動 梶井 公美子(パシフィックコンサルタンツ株式会社 地球環境研究所)
- 火 山 長橋 良隆(福島大学)
- 放 射 能 難波 謙二(福島大学環境放射能研究所 所長)

■ 質疑・討論

コーディネーター： 秋元 正國(双葉地方広域市町村会 理事)

パネラー： 梶井公美子・長橋良隆・難波謙二

司 会： 川越 清樹



問い合わせ先：

福島大学共生システム理工学類 川越清樹

E-mail： Kawagoe@sss.fukushima-u.ac.jp

TEL： 024-548-5261